

SHO-BOND

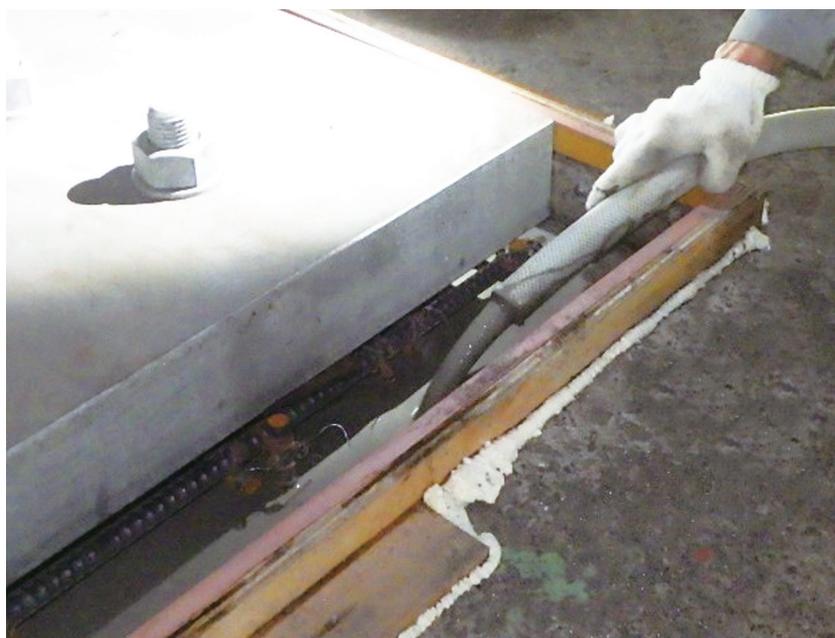
MATERIAL

ひび割れ低減型 繊維入り無収縮モルタル

SHO-BOND

SB RACモルタルF

SB Repairing Agent with Fiber for Concrete Mortar



- ★ナイロン繊維入りプレミックスタイプの無収縮モルタルです。
- ★ひび割れ抵抗性に優れています。
- ★従来の無収縮モルタル同様、優れた流動性を有します。
- ★ブリーディングが無いので、空隙が残りません。

ショーボンドマテリアル株式会社

特長

- ① ナイロン繊維をプレミックスした特殊配合の無収縮モルタルです。
- ② ひび割れ抵抗性が従来の無収縮モルタルに比べて大幅に向上しています。
- ③ 流動性に優れ、複雑な形状の隙間にも隅々まで充てんすることができます。
- ④ ブリーディング・沈下が無いため、充てん後空隙が残らず、確実な荷重伝達が期待できます。
- ⑤ 数日で実用強度を発現する無収縮モルタルです。

配合・規格値

■配合例

配合	水材料比 (%)	単体量 (kg)		練上り量 (ℓ)
		SBRACモルタルF	水	
1m ³	18.0	1,875 (75袋)	338	約1,000
1袋		25 (1袋)	4.5	約13.5

注) 気温等により水量は多少変動(4.3~4.7kg/袋程度)します。使用前には必要に応じて試験練りを行い、流動性・強度等を確認してください。

■製品規格値(道路橋支承便覧 土木学会規格に準拠)

試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値
コンシステンシー	JSCE-F 541	20℃	秒	8.0 ± 2.0
ブリーディング	JSCE-F 542	20℃	%	0
圧縮強度	JSCE-G 541	3日	N/mm ²	25.0 以上
		28日		45.0 以上
付着強度 ^{注1}	NEXCO 試験法 312	28日	N/mm ²	3.0 以上
膨張収縮	JSCE-F 542	7日	%	収縮せず
凝結時間(始発-終結)	NEXCO 試験法 312	20℃	時間	1:00-10:00 ^{注2}

※配合/SBRACモルタルF:水=25:4.5 ※試験条件:20℃恒温室内養生

注1: 丸鋼を使用して品質管理を実施 注2: NEXCO 規格を代用

■製品規格値(NEXCO規格に準拠)

試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値
コンシステンシー	NEXCO 試験法 312	20℃	秒	8.0 ± 2.0
ブリーディング		20℃	%	0
圧縮強度		3日	N/mm ²	25.0 以上
		28日		45.0 以上
鉄筋付着強度		28日	N/mm ²	3.0 以上
膨張収縮		7日	%	収縮せず
凝結時間(始発-終結)	20℃	時間	1:00-10:00	

※配合/SBRACモルタルF:水=25:4.5 ※試験条件:20℃恒温室内養生

■製造・販売

ショーボンドマテリアル株式会社
〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-10 TEL.049(225)5611(代表)
<https://www.sb-material.co.jp>

■販売

ショーボンド建設株式会社
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8 TEL.03(6861)8101(代表)
<https://www.sho-bond.co.jp>

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

施工方法

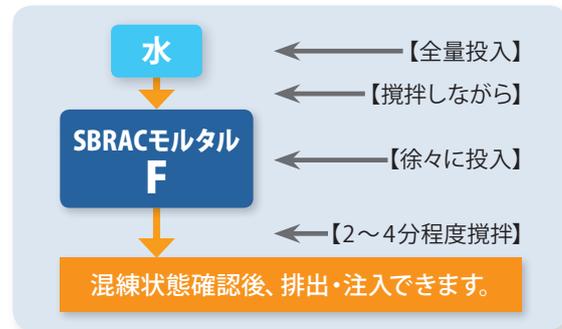
①下地処理

1. 下地コンクリートの浮き、脆弱部、レイタンス、油類などを除去します。
2. 鉄筋部分は錆を落とし、防錆材などによる防錆処理を行います。
3. 下地コンクリートをエアブロー等で良く清掃し、湧水や結露が生じていないことを確認し、散水または、専用プライマー*を塗布してください。

※専用プライマー(SBRACトリート、AGプライマー)の塗布量やプライマー塗布後のSBRACモルタルFの施工タイミング等については、各製品説明書、施工要領書をご確認ください。

②材料の混練

配合表を目安にモルタルミキサーを用い、2~4分程度混練します。



※外気温、水温、練り上がり温度、湿度等により、可使用時間、施工時間が変わるため、施工性の確認を行いながら、規定水量の範囲内で混練水量を調整します。

※練り上がった材料は、30分~60分程度で使い切ってください。

③注入

注入条件によって自重圧・ポンプ注入等選択します。注入は打設箇所全体で計画レベルを確保できるよう連続的にを行います。

また、バイブレーター等による振動締固めは不適切です。

④仕上げ

一般的には木ゴテ、金ゴテ仕上げを行います。

⑤養生

表面を濡れた布等で被い、2~3日間は湿潤状態を保ち、初期の乾燥を防いでください。寒中施工では保温養生等により初期凍害を防止してください。

●取扱店